

伊丹想流私塾マスターコース リーディング公演

長編戯曲の完成を目指す実践戯曲講座「伊丹想流私塾マスターコース」。
本講座で執筆された戯曲から、講師を担当した岩崎正裕と中村賢司がおススメする秀作2作品を、
ドラマリーディングで紹介します。

『とろっか、とろっか』

地方都市の駅前商店街。江戸時代創業の古びた写真館「ひなたぼっこ」は、日本の写真館の草分けの一つとして知られ、研究熱心な歴代店主の経営でみんなに愛されていた。しかし、六代目店主・樹一郎は、仕事にやりがいを見出せず店を閉めようと考えていた。それを知ったアシスタントの花は、地元の人々をまきこみながら存続できないかを試みる。花には、写真の仕事を失うわけにはいかない理由があった…。

作：伊地知克介

演出：空ノ驛舎（空の驛舎）

出演：あらいらあ
石塚博章（空の驛舎）
小畑香奈恵（宴劇会なかつぎ）
小中太（劇団子供巨人）
橋本浩明
原綾華（桃園会）
三田村啓示（空の驛舎）
山本彩（空の驛舎）

音響：津久間泉（空の驛舎） 音響協力：大西博樹

□伊地知克介（いじち・かつゆき）

マスターコース第7期・第8期にて岩崎正裕・中村賢司に師事。「劇団大阪」で上演された『運転中』が、第19回OMS戯曲賞最終候補作に残る。本作は、マスターコース第7期在籍中に執筆。高槻市のシニア劇団「恍惚一座」への新作書き下ろしなど、精力的に活動している。

『水の音』

「日本の劇」戯曲賞2012最優秀賞受賞

東京近郊の町にある駅近くの喫茶店「滞（みお）」。
店長兼オーナーの敦志が一人で切り盛りするこの店に、幼馴染の楓太と奈津がやってくる。三人は50歳。四国の農村・瀨村出身で、中学時代は同じ水泳部の仲間だった。久しぶりに集まった三人は、青春時代を振り返りながら、そのころの思いをよみがえらせる。もう恋愛をするような年齢ではないけれど、ひとりも寂しい。そんな幼馴染たちのさまざまな本音とは…。

作：ナガイヒデミ

演出：岩崎正裕（劇団太陽族）

出演：保（兵庫県立ピッコロ劇団）
森本研典（劇団太陽族）
峯素子（遊気舎）

□ナガイヒデミ

伊丹市立生涯学習センターの講座（講師：横山拓也）で初めて戯曲創作に触れる。その後、伊丹想流私塾第15期で北村想・林慎一郎・高橋恵に、同塾マスターコース第6～8期で岩崎正裕・中村賢司に師事。本作はマスターコース第6期で書いた初の長編戯曲。「日本の劇」戯曲賞2012最優秀賞を受賞し、東京・恵比寿エコー劇場で上演された。

日時：2014年 7月17日（木）15:00/19:00

日時：2014年 7月24日（木）19:00

※受付開始・開場は開演の30分前。
※各回終演後、合評会を行います。

◆会場：アイホール（伊丹市立演劇ホール） カルチャールームA
兵庫県伊丹市伊丹2-4-1 《JR伊丹駅前》

◆料金：500円 【限定40席、要予約】

◆チケット予約・お問合せ

アイホール TEL=072-782-2000 メール=info@aihall.com